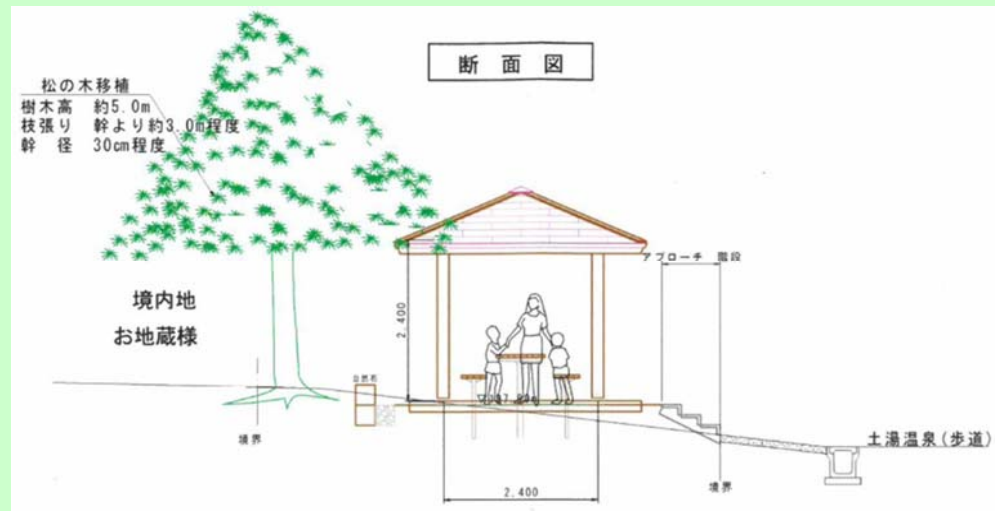


ポケットパーク整備



ポケットパークのイメージ図

管理状況

■道路や河川管理者である県や市と地域が役割分担を図りながら、地域自らのまちづくりと持続可能な地域活性化のため施設の使い方等も時間の経過とともに発展していく様な管理形態とします。

関係機関

- 福島県県北建設事務所企画調査課
- 福島県県北地方振興局
- 福島市松川支所経済建設係
- 松川・宿場町まちづくり協議会

TEL : 024-522-2115
 TEL : 024-521-0522
 TEL : 024-567-2111
 TEL : 024-567-4904

旧奥州街道の松川宿のまちづくり

松川地区

福島市

県北建設事務所
 計画期間: H25~H27

地域づくりの方針

「子どもや高齢者にもやさしい、住みよいまちづくり」を目標に宿場町の町並み整備と松川歴史探訪・散策路の整備を図る。

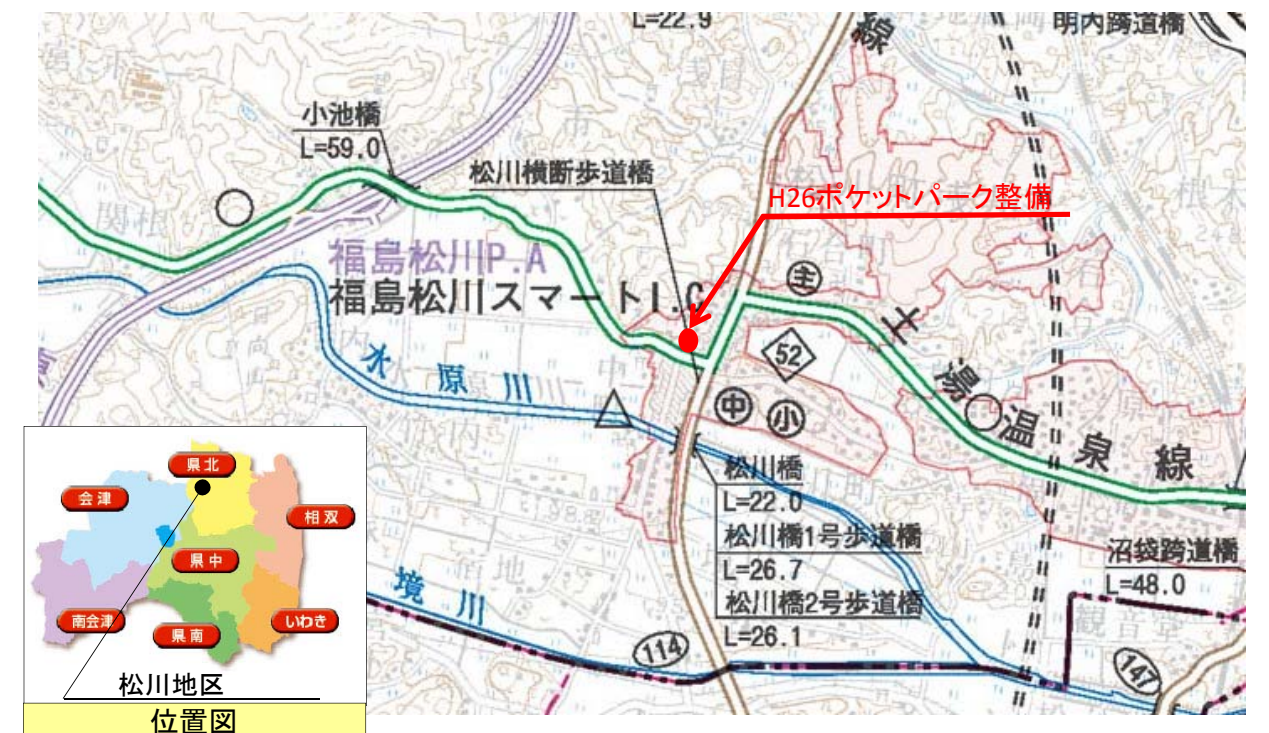
主な事業内容

シンボルゾーンに**休憩施設を整備**します。

また、松川歴史探訪・散策路の**ルート案内標識を設置**します。



事業概要図



位置図

地域の現状

松川地区は、古くは旧奥州街道の中でもかなり栄えた宿場町として賑わっていました。現在は、国道4号バイパスの開通、小学校や郵便局の移転に加えて、美郷団地やJR松川駅周辺部の宅地化が進み、地区中心部の活力と賑わいが薄れつつあることが課題となっています。松川・宿場町まちづくり協議会では、松川スマートIC供用を契機とした（主）土湯温泉線の拡幅工事に合わせて、平成22年度より福島市地域別まちづくり支援事業を活用し、これからのまちづくりをテーマに講演会やワークショップ等を開催しています。

地域づくりのあゆみ

平成22年
～平成24年

松川宿場町まちづくり協議会が福島市地域別まちづくり支援事業を活用し、沿道の花植え、水原川の除草、めがね橋のライトアップ、ワークショップ、先進地視察、まちづくり講演会を実施。

元気づくりの立役者たち

八丁目城趾



めがね橋



地域の課題・今後の展望

・松川地区中心部の活力と賑わいが薄れつつあることが課題で、地域再生に向けて、地域資源を活用した魅力あるまちづくりを実施する必要があります。

事業の効果

・地域再生に向け、地域資源や地域の特性を最大限活かしながら、地域と行政がそれぞれの役割を果たすような事業を実践していくものです。これにより、「地域自らのまちづくり」の醸成がなされ、持続可能な地域の活性化が図られます。

灯籠流し・提灯祭り



■めがね橋ライトアップ&灯籠流し

・めがね橋の魅力と存在感を周知することや活用の方法を考えています。（松川の遺産から福島の遺産へ）

・灯籠流し
10個程度を手作り・思い思いの表現を演出

■提灯祭り

・提灯山車の幽玄な明かりとめがね橋の柔らかな灯りが何とも言えない温かい風景を造り出します

■横丁・八丁目通り癒しの花植え

・五つの町内会ごとに通り沿いに草花を植えて潤いと、手作りの気配を感じてもらい、歩道の活用。

町内会ごとの花壇



■通りに名前を

屋号の活用



■共同井戸調査

・先人の飲料水にたいする苦勞を偲び地域や共同体として生きてきた知恵や匠の技を後世に伝える。

共同井戸

